

## 8-1 かわいい孫

「目に入れても痛くないほどかわいい」と言われる孫。

祖父母として、孫育てに関わるときの注意点について考えてみましょう。

### エピソード

4歳の娘がいるお母さんからの人生相談です。

『先日、久しぶりに娘とふたりで、夫の両親の家に遊びに行きました。私が買い物に出かけている間、娘は、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に留守番をしていました。

買い物から帰ってくると、娘は夕飯前なのにお菓子をたくさん食べていた様子。それから、もうすでに持っている似たような人形をおじいちゃんに買ってもらっていました。

私は、夕飯前にお菓子を食べさせたり、むやみにおもちゃを買い与えたりしてほしくないのですが、おじいちゃんとおばあちゃんにどう伝えたらよいか悩んでしまいます。』



ワーク1

あなたは、この相談にどのように回答しますか？

Blank response area for Work 1.

ワーク2

あなたが孫と接する時、何に気をつけていますか？（気をつけたいですか）

Blank response area for Work 2.



# 「孫育て」は いいこといっぱい

## 祖父母にいいこと

- 孫から元気もらえる
- 外出の機会が増える
- 会話が増える
- 暮らしにメリハリがつく
- 地域のつながりが増える

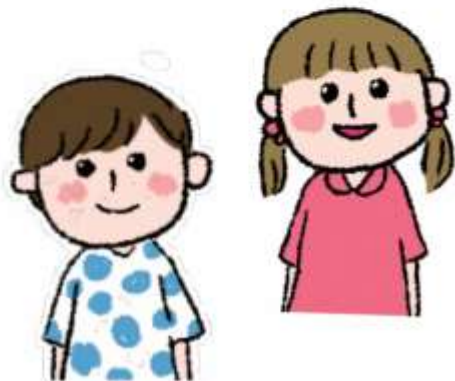


## パパ・ママにいいこと

- 子育て、生活のサポートを得られる
- 相談相手ができる
- 自分の時間が持てる
- 親への感謝の気持ちが増える

## 孫にいいこと

- いろいろな大人との関わりが持てる
- 親以外に親身になってくれる人がいることがわかる
- 食の幅が広がる
- 思いやりの気持ちが持てる



## コラム

## 孫育て、どうする？ どうやる？

棒田明子さん (NPO 法人孫育て・ニッポン理事長)

はじめて子育てをするパパ・ママの姿は、頼りなく、手や口を出したくなることもあるでしょう。でも、そこは一步下がって見守るのが祖父母の立ち位置。パパ・ママの考える子育てがうまくいくようにサポートするのが原則です。

孫にとって祖父母は、心のオアシスであり、親と違った世界をみせてくれる、かけがえのない人です。ただ昨今「孫疲れ」などの言葉もあるほど、祖父母のサポートの比重も増えています。産後ケア施設、子育て支援センター、一時預かりなども利用可能なので、上手に使い、時間、心、体力、そして、お金にゆとりを残しながら、パパ・ママ、孫の応援団になっていただけたら幸いです。

## コラム

## 皆で子育て

横須賀聡子さん (特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城理事長)

私たちは、狩猟採集民の頃から群れで暮らし、食料を分け合い、皆で子を育ててきました。しかし、群れる必要のなくなった今、子育ての不安と困難が広がっています。人本来の知恵である「皆で子育て」は、子育ての不安と困難への解決策なのではないでしょうか。

## 8-2

## 孫育て

パパやママだけでなく、おじいちゃん、おばあちゃん世代をはじめ、たくさんの方が子育てに関わることは子どもの成長に大切なことです。

お孫さんを預かるときの注意点を、改めて確認してみましょう。



### ワーク1

自分たちの子育ての中で「ヒヤッとしたこと」は何ですか？

### ワーク2

お孫さんを預かるときに、どんなことに注意したら良いと思いますか？



No.04  
Mago\_sodate

# 子育ての常識は時代によって変わる

## コラム

三宅はつえさん（日本助産師会茨城県支部元会長）

昔と今ではさまざまな子育ての常識が変わってきています。医学の進歩に伴い、子育てについても研究が進んできたのです。また環境の変化も子育ての常識を変える大きな要因です。たとえば、以前は抱き癖と言われていましたが、今は抱っこは赤ちゃんの心の栄養と言われています。核家族化が進み、赤ちゃんを抱っこしてくれる人も減ってしまいました。パパやママだけでなく、周りにいる人みんなで赤ちゃんの心を育てていきたいですね。昔も今も、子育ての基本は変わりません。赤ちゃんはみんなの目と手と心で育っていくのです。子育ての中心はパパとママですから、どんな子育てをしたいのか聞いてみて、それを尊重しながらサポートするとみんなの笑顔が広がります。



※赤ちゃんの頭の中はとてももろいので、泣きやまないからと言って頭を激しく揺さぶらないように注意しましょう。

## チャイルドシート

道路交通法の改正により、6歳未満の乳幼児のチャイルドシートの使用が義務付けられました。必ず適正に使用しましょう。



## 寝かせかた



乳幼児突然死症候群 (SIDS) から赤ちゃんを守るため、医学上の理由で必要な時以外、1歳になるまでは赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。

## 卒乳

以前はおよそ1歳を目安に、親の判断で母乳をやめるよう勧められていましたが(断乳)、現在では赤ちゃんのほうから自主的にやめる「卒乳」が主流です。母乳を必要としなくなる時期には個人差があるので、できる限り赤ちゃんのペースに合わせてみましょう。

## 虫歯

虫歯菌は赤ちゃんが持っていない細菌で、保有者である大人の唾液を通して感染することがわかりました。大人がかみ砕いた食べ物を与えたり、大人が使ったはしやスプーンを共有しないようにしましょう。

## 食物アレルギー

現在は10～20人に1人の子どもが食物アレルギーと言われています。パパ・ママに確認してから食べさせるようにしましょう。

※特に留意が必要な特定原材料7品目

(卵、小麦、乳、えび、かに、そば、落花生)



また、ハチミツやハチミツ入り飲料・食品は、乳児ボツリヌス症を予防するため、1歳未満の赤ちゃんに与えないように注意しましょう。

# 赤ちゃんの成長に伴う注意

赤ちゃんが成長するにつれ、できることが増えるとともに、注意しないといけないことも増えていきます。

子どもの死亡原因の中で、「不慮の事故」が大きな割合を占めています。環境面、行動面の両方から事故を未然に防ぐようにしましょう。

## 寝返り時期



- 転落防止のため、高さのあるソファーなどにひとりで寝かせない
- 窒息の危険があるため、まくらや柔らかい布団、ビニール袋などを床の上に置かない

## はいはい時期

- 行動範囲や手の届く範囲が増え、なんでも口に入れたがるようになるので、タバコ・医薬品などは手の届かない所に片づける  
(特に小型電池は重症事故につながるので要注意)



- 熱い飲み物や電気ポット、炊飯器・加湿器などによるやけどにも注意する



## つかまり立ち時期



- つかまり立ちから身体を支えきれず後ろに倒れたり、テーブルなどの角に頭や顔をぶつけてケガをすることがあるので注意する
- 少しの水でも溺れる危険があるため、お風呂や洗濯機に水を入れておかない
- 階段からの転落事故も多いため、柵を付けたりする

## よちよち歩き時期

- 転ぶとケガをすることもあるので、はしや歯ブラシなど細くて固いものを持って歩かせない
- ベランダ・窓からの転落防止のため、踏み台になりそうなものは置かない



## 歩く・走る時期



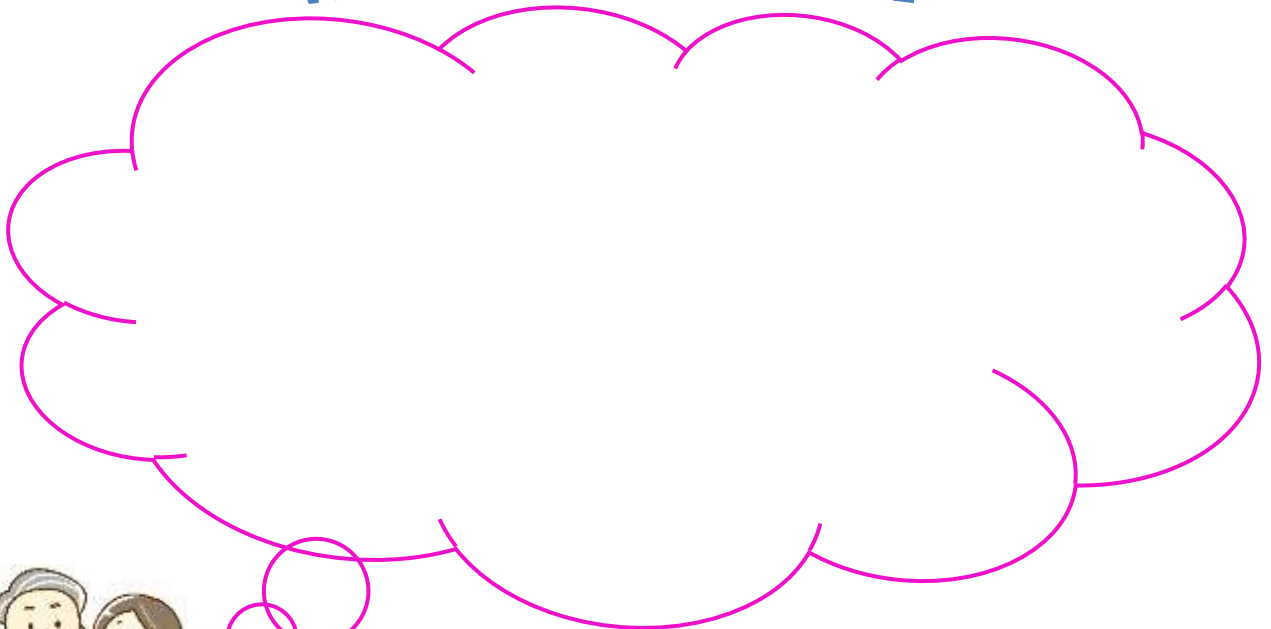
- 行動範囲が屋内から屋外に広がるため、交通事故の危険が増える（特に駐車場は死角になりやすいので要注意）
- 道路や車の前に飛び出すこともあるため、手をつないで歩く習慣をつける

## 8-3 孫育て、みんなどうしてる？

孫育てをしている中で、「みんなは、どうしているのかな？」と、思うことはありませんか。  
みんなに聞いてみたいことをお話してみましょう。

(例) お節句のお祝いは、どうしてる？

(例) 孫の洋服とか買ってあげるの？



MEMO

A large, empty rectangular area with a blue border, intended for writing a memo.



# 「孫育て」は いいこといっぱい

## 祖父母にいいこと

- 孫から元気もらえる
- 外出の機会が増える
- 会話が増える
- 暮らしにメリハリがつく
- 地域のつながりが増える

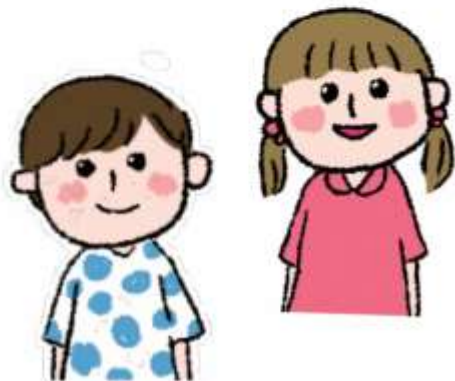


## パパ・ママにいいこと

- 子育て、生活のサポートを得られる
- 相談相手ができる
- 自分の時間が持てる
- 親への感謝の気持ちが増える

## 孫にいいこと

- いろいろな大人との関わりが持てる
- 親以外に親身になってくれる人がいることがわかる
- 食の幅が広がる
- 思いやりの気持ちが持てる



## コラム

## 孫育て、どうする？ どうやる？

棒田明子さん (NPO 法人孫育て・ニッポン理事長)

はじめて子育てをするパパ・ママの姿は、頼りなく、手や口を出したくなることもあるでしょう。でも、そこは一步下がって見守るのが祖父母の立ち位置。パパ・ママの考える子育てがうまくいくようにサポートするのが原則です。

孫にとって祖父母は、心のオアシスであり、親と違った世界をみせてくれる、かけがえのない人です。ただ昨今「孫疲れ」などの言葉もあるほど、祖父母のサポートの比重も増えています。産後ケア施設、子育て支援センター、一時預かりなども利用可能なので、上手に使い、時間、心、体力、そして、お金にゆとりを残しながら、パパ・ママ、孫の応援団になっていただけたら幸いです。

## コラム

## 皆で子育て

横須賀聡子さん (特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城理事長)

私たちは、狩猟採集民の頃から群れで暮らし、食料を分け合い、皆で子を育ててきました。しかし、群れる必要のなくなった今、子育ての不安と困難が広がっています。人本来の知恵である「皆で子育て」は、子育ての不安と困難への解決策なのではないでしょうか。